

小倉りえこの質問及び、区長・教育長からの答弁（まとめ）

質問項目：



【基金】

1. 震災復興基金について
 - 震災復興基金の活用方針を示していただきたい
2. 基金の見直しについて
 - 各基金の適正規模の目安を設けていただきたい
 - 基金全体の活用基準を整理してはいかがか
 - 定住促進基金は人口増加による課題解決に

【園庭の無い保育園の園外活動の支援】

1. 区有施設等の活用だけでは追いつかないのでは
2. 保育園園庭の代わりとなる公園を増やせないのか

【教育現場の ICT 環境整備について】

1. 通信速度の改善、共有可能なクラウドサーバーなど、教職員のための ICT 環境改善の早期実現を

【区有施設等における文化芸術活動】

1. 制限のある区有施設の利用条件の改善を

* 一般質問とは、区議会定例会の場において、議員が区政に関して広く説明や報告を求めたり、将来に対する考え方などを区長と教育長（教育関連の場合）に質問することです。

基金について：

【震災復興基金の活用方針を示していただきたい】

Q：平成29年に条例制定された「震災復興基金」は、令和4年度までに1,000億円を積み立てる計画であり、昨年度末の残高は660億円を越えた。しかし、基金の活用方針や施行規則など未だ存在しない。活用方針を可能な限り早期にお示しいただきたい。

A：武井雅昭 区長

現在、災害救助法や被災者生活再建支援法等に基づく国の支援制度の調査のほか、災害時に独自の被災者支援を実施した自治体での現地調査を行い、港区にふさわしい支援内容の検討を進めている。具体的な活用方法について、できる限り早期に示す。

【17ある基金の適正規模の目安を設けていただきたい】

Q：基金の中に我々の求める事業のための費用も当然含まれていると思われるが、予算化されずなかなか出てこないことがもどかしくも思うこともある。財政調整基金を含め、各基金はどの程度蓄えがあるべきかなど、基金の適正規模についてどう考えるか。

A：武井雅昭 区長

財政調整基金は、区民税等の経常的な収入を基礎として算定される、標準財政規模の5割以上を確保することとしている。特定目的基金は、(仮称)産業振興センターの整備をはじめ、施設整備に係る基金を今年度は36億円活用するなどして、財政負担を平準化している。

【基金全体の活用基準を整理してはいかがか】

Q：今現在、いくつかの基金は、特定担当課のための貯金箱となっているように見える。基金全体の目的と趣旨を今一度整理し、必要なものは統合するなど、より区民にわかりやすくされてはいかがか。

A：武井雅昭 区長

公共施設の整備、子育て支援など、特定の政策目的を実現するために条例で基金を設置し、その趣旨に沿って計画的な積立てと効果的な活用を図ってきた。区債償還のための減債基金をは

じめ、目的を果たした基金は廃止するなど必要な見直しをしている。今後も財政状況や社会環境など区を取り巻くあらゆる状況の変化に合わせ、統合や廃止を含めた見直しを行う。

【定住促進基金は人口増加による課題解決に】

Q：定住促進基金は、いわゆる「土木費」という分野で主に使用されている。しかし定住促進基金は活用目的を広げ、これからは人口増に伴う課題に対応する総合的な基金として組織横断的に活用していただきたい。

A：武井雅昭 区長

定住促進基金は区が定住促進対策の推進のために設置した基金で、主に都市基盤や交通環境の整備などに活用している。これまで電線類地中化整備、コミュニティバス運行、台場の地域交通の運行、自転車シェアリング推進、歩道及び歩車共存道路の整備などに充当してきた。今後も社会情勢の変化に応じ、良好な市街地環境の整備に向けて、基金の目的に合致した事業に効果的に活用する。

園庭の無い保育園の園外活動の支援について：

【外遊びは区有施設等の活用だけでは追いつかないのでは】

Q：都市部では園庭のない保育園が増加してきた。新たに整備する元麻布保育園など、広い園庭を確保する区有施設は園庭のない私立保育園に場所を提供する予定と聞いているが、それはおそらく幼児が歩行可能な距離にある私立園と限定されることになる。外遊びの機会を設けるための手段を幅広く検討し、実施をしていただきたい。これまで同様、区有施設等の活用だけでは追いつかない中、外遊びをどのように改善しようとしているのか。

A：武井雅昭 区長

園児の外遊びの場所を確保することは、保育環境を充実するためにも重要であり、引き続き、送迎バスによる移動支援なども含め、多角的に検討する。

【保育園園庭の代わりとなる公園を増やせないのか】

Q：水飲み場とトイレが設置されている公園でないと、外遊びのための公園の選択肢として選ばれにくい。そもそも、港区は遊べる公園が少ない。たくさんの公園に水飲み場やトイレが併

設されることが園外活動の充実に繋がり一番望ましいが、近隣からの反対など、様々な事情もあり困難であると聞いている。このような中でも、保育園の園庭がわりになる公園は増やす努力はしていただきたい。

A： 武井雅昭 区長

大規模開発の際に、新たな公園を整備するため事業者と協議を行っている。品川駅北周辺地区の開発で新設予定の公園では水飲み場やトイレを備え、子どもたちの遊び場として遊具を配置した計画とした。本村公園では、子どもたちがのびのびと走り回れる広場やトイレに幼児用便座を設置するなど、ワークショップでの意見を反映して、来年度再整備する。今後も、園庭の代わりとして利用できるよう、公園を整備していく。

教育現場の ICT 環境整備について：

【教職員のための ICT 環境改善の早期実現を】

Q： 職員室の ICT 環境の改善が大きく遅れを取っているのではないかと。現代の学びの実践において、セキュリティを担保した通信速度の改善、そして教育委員会と各校で共有可能なクラウドサーバーなど、教職員のための ICT 環境整備の早期実現をお願いしたい。

A： 青木康平 教育長

校務の効率化による教職員の負担軽減や子どもたちに向き合う時間の確保のため、教職員の ICT 環境の整備を進めている。今年度は各学校の無線 LAN の強化を行い、高速かつ安全性の高いネットワークを整備した。今後も、セキュリティが高く、時間や場所、端末の違いを超えて活用できるクラウドサーバーの利用や通信速度の更なる改善を検討するとともに、テレビ会議や遠隔でシステムにアクセスし業務を行うなど、教職員の ICT 環境のさらなる充実に向け取り組む。

区民センターなど、区有施設の利用条件の改善について：

【文化芸術の裾野を広げるため、団体の利用条件を改善してほしい】

Q： 区民センターなどでは、使用する団体に構成員が 10 名以上であることや構成員の 7 割以上が、区民や在勤者であることを求めている。特に文化芸術活動はその性質から、個人や少人数で行われるものも少なくなく、そもそも団体登録に必要な条件が満たない場合もある。活動を PR するための撮影・公開許可をするなど、多少の改善をされてもいいのではないかと。文化

芸術活動を継続して育むため、区民センターなど区有施設に関する利用条件を改善していただきたい。

A： 武井雅昭 区長

今後、区民センターの利用実態や他区の動向等を調査し、ニーズを把握した上で、登録団体以外の団体や個人も含めた利用条件の見直しについて検討する。